

平成30年度 地域振興会議視察（案）について

目的：青谷上寺地遺跡整備が平成31年度から開始される予定である。史跡整備の効果で、来町者が増加するものと考えが、その効果は一時的なものであることも予想される。来町者の増加を長く持続させるためには、提供できるソフト事業が重要であるといわれており、遺跡整備と並行して住民参画を図り充実したソフト事業が提供できる体制を構築することが求められる。そこで、住民がソフト事業に参画している兵庫県立考古博物館及び大中遺跡公園を視察し、地域住民と史跡公園との関わりを学び、青谷町における住民参画機運の向上を模索する。

視察先：兵庫県立考古博物館及び大中遺跡公園

日にち：未定

日 程： 青谷町総合支所 7時
兵庫県立考古博物館 10時～13時
青谷町総合支所 16時

参加者：地域振興会議委員
支所職員

交通手段：貸切マイクロバス



HOME > 博物館活動に参加しよう! -考古学博物館ボランティア情報-

▶ ひょうご考古学情報

ひょうご考古学トピック

考古学情報バンク

兵庫県のおもな遺跡

館蔵品紹介

▶ 博物館の刊行物

▶ 埋蔵文化財保護の手引き

▶ スタッフブログ

考古学のホットな話題を
お届けします

▶ 考古学であそぼう

楽しいゲームで
あそぼう!

▶ 博物館活動に参加しよう!

考古学博物館ボランティア情報

▶ メールマガジン

兵庫県の考古学最新情報をお届けします

■ 発掘調査情報

発掘調査情報は、
(公財)兵庫県考古学センターの
HPをご覧ください。

▶ 博物館活動に参加しよう! -考古博物館ボランティア情報-

Let's try to participate in museum activity

ボランティア養成研修

考古博物館では、博物館で活動いただくボランティア(第16期生)を募集します。これまで300名以上の方がこの研修を終えられ、活動されています。みなさんの力を博物館活動に生かしてみませんか? 定員は40名(応募多数の場合は抽選となります) 応募締切は平成29年4月28日(金)必着です。申し込み用紙は→こちら

今年度の募集は終了しました。来年度も同様に募集する予定ですので、ぜひお申込みください。

【対象】

1. 博物館事業に興味・関心があり、活動できる方
2. 満18歳以上で健康な方(平成29年4月1日現在)
3. ボランティアに必要な研修を受講できる方
(研修修了後にボランティア登録となります)
4. 月1回程度ボランティア活動ができる方

【内容】 研修内容は大きく2つに分かれています。

1. 講義 考古博物館でのボランティアの活動や考古学の基礎を楽しく学びます。
2. 実習 古代体験実習・ボランティア実習からなり、博物館活動の実務を体験します。

【研修実施期間】

平成29年度の養成研修は、平成29年5月21日～平成29年11月19日まで開催します。

<スケジュール>

1. 講義 博物館ボランティアについて
考古博における「おもてなし」について
考古学入門 I
考古学入門 II
大中遺跡の歴史と特質ー遺跡解説のためにー
博物館の展示案内ー展示案内のためにー
2. 実習 古代体験実習1 勾玉をつくろう
古代体験実習2 ミニミニ石包丁づくり
古代体験実習3 古代の火おこし
古代体験実習4 ループで組紐
大中遺跡まつり

ボランティア実習(2回以上)
指定した古代体験講座等への参加(3回以上)

3. 発表 研修で考えたこと、今後の抱負

<活動概要>

学芸員から遺跡や展示の解説を受けるだけでなく、先輩ボランティアから体験学習の指導を受けたり、グループで共通の問題について考えて発表し合ったりもします。



[ページトップへ](#)

[お問い合わせ](#) [サイトマップ](#) [リンクリスト](#) [サイトポリシー](#)

兵庫県立考古博物館 〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1 TEL.079-437-5589



大中遺跡（弥生時代後期～古墳時代初頭の代表的な遺跡）

大中遺跡は、昭和37（1962）年6月、町内に住む3人の中学生によって発見され、昭和42（1967）年に国の史跡に指定されました。昭和47年から「播磨大中国古代の村」として整備され、今では憩いの場として親しまれています。

大中遺跡は、弥生時代後期（約1900年前）から古墳時代初頭（邪馬台国 卑弥呼と同時期）の代表的な遺跡で、長さ500m、幅180mで、約70,000平方メートルの広さがあります。

これまでに全体の20%の面積を調査し、73軒の竪穴住居跡が見つかっています。見つかった住居跡の数から考えると、遺跡内には少なくとも250軒くらいの住居が建てられていたようです。当時、貴重品だった中国製の鏡(内行花文鏡片)が出土しているので、播磨では有力なムラでした。

「播磨大中国古代の村」は、復元住居ばかりが目を見ますが、弥生時代に生えていた植物も復元されています。



※ 大中遺跡の50年をまとめた年表は[こちらをクリック](#)すると見られます。

オポナカムラ（播磨大中国古代の村）の四季



八重桜(4月下旬) 資料館前



狐狸ヶ池のカガブタ(7月)



紅葉(11月下旬) であいのみち



さざんか(1月)



梅(2月)